#### 調查名 千葉市立轟町中学校增築地質調查業務委託

調查地 壬葉市稲毛区轟町 3 丁目 5 番 1 4 号

#### 調查年月日 平成4年5月22日~4年5月27日

**標 髙 KBM -0.35 m** 

孔内水位 GL-9.80 m (自然水位)

技術者

標	標	深	胎	柱	色	<u> </u>	観	原		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>*</b>	買	入	試	験	19 			試 松	<del></del>	標	
				状		<b>M</b>		位 置 試	深	N	1.00	om 15	<b>勇</b> の		*********	<u> </u>			<del> </del>	採	取	採		
R	高	度	厚		調	名	察	<b>験</b> 深			<b>‡</b> ∏		数	0	10	N	,	値	40 5	乱き	法   乱し	取深	R	
m	1	m	m	2		<b>.</b>		度 m	度 m	∭ Ū/an	om I U	au 20	30 cm	U	10	20		80	40 5	D ない 試料	た 試料	度 m	m	
1	-1. 85	1, 50	1. 50	X	褐	埋土	ローム。 含水中くらい。 均質。		1. 15 1. 45	1 30	1 30					-							- 1	
2				****	褐	( <del>************************************</del>	<ul><li></li></ul>		2, 15	4	1	1	2 13	<u></u>									2	
3					\		4m、黄褐色。  含水比較的多い。		2. 48 3. 15	3	1	1	1		-								3	
4	-4, 85	4, 50	3.00			D ~ Д		o K値 4.00	1 4. IJ	1	1 30			$\int_{\mathbb{R}^{n}}$	\\\\\								- 4	
5		1,00	V. 00		·		凝灰質。 不均質。 5m、砂混り粘土。		4. 45 5. 15	2	1 20	1 10											5	
6	-6. 85	6, 50	2.00			砂混り粘土	含水多い。   6 m、砂質粘土。   粗粒火山灰主体。	·	5, <b>4</b> 5 6, 15	11 30	3	4	4			And the same of							- 6	
7		0,00	2.00			00/36/0/1011	含水中くらい。   細粒〜相板。   粒度良い。   細粒土・火山灰少し含有。   含水中くらい。		6. 45 7. 15	6 30	2	2	2	1									- 7	
8	1	į					含水中くらい。 		7. 45 8. 15	3 <u>0</u>	3	2	3										- 8	
9									8. 45 9. 15	30, 8	3	3	3										9	
10 -	-10.35	10.00	3.50		黄褐	細砂	<b>轴</b> 粒~中粒。		9. 45 10. 15	10 30	3	4	3					辛				•	- 10	
11							均等粒度。 雲母少し含有。   含水多い。   10m、11m、粗粒の細		10. 45 11. 15	14 311	3	5	6		$\setminus$								- 11	
12 -							砂・細粒土火ル含有。		11. 45 12. 15 12. 45		6	. 5	6										- 12	
13 -									13 15	18	F,	6	7		<b>!</b>								- 13	
14 -									13. 45 14. 15	17 30	5	6	8				-		a de la constante de la consta				14	
15 -	-15.85	15. 50	E EV		# 68 18	4m r.A			14. 45 15. 15	20	6	6	8									·	- 15	
16 -	-13.63	10, 30	5. 50		田林 传	細砂	細粒の細砂・粗粒の粗砂。 粒度良い。 今水中くらい		15. 45 16. 15	27	8	7	12				\ 2\2						- 16	
17 -	-						細位の細胞の相似の相似。 粒度良い。 合水中くらい。 16m、細砂主体。 17m、粗砂優勢。 仔1㎝以下の髁少し含有。 18m、19m、細砂優勢。		16. 45 17. 15	50	11	??	17										- - 17	İ
18 -							「8m、19m、細砂震艦 20m、粗砂優勢。 階段粒度。 怪1cm以下の碟少し含有。		17. 43 18. 15	40 30	17	13	10										- 18	
19 -							1		18. 45 19. 15	39	10	13	16										19	
20 -	_								19. 45 • 20. 15	50 21	20	25	5										- 20	
21 -	-21.35	21.00	5. 50		黄緑褐	<b>5</b> 少	<b>要母含有。</b>		20. 36 21. 15	27	6	8	13										- 21	İ
22 -							夢母含有。 含水中くらい。 21m、22m、細粒~粗 粒原良い。		21. 45 22. 15	28 30	5	9	14										- 22	ı
23							粒。 粒度良い。 23m、24m、細粒。 均等粒度。		22. 45 23. <b>1</b> 5	50 29	10	19	21			-	•		1				- 23	ı
24	-24. 85	24. 50	3, 50		黄緑褐	Em 14			23. 44 24. 15	50 24	20	22	8 4		İ								- 24	
25 -		24.00	0, 30	θ.	MAALA	AND U.S	細粒~相粒。 粒度良い。 具殻片混入率50%。		24. 39 25. 15	50 19	20 10	3 <u>0</u>	4										25	
26 -	-26. 15 -26. 75	25, 80 26, 40	1. 30 0. 60	0 AAA AAA	灰黄绿灰白	貝殻混り砂 浮 石	含水中くらい。   粒径5㎜以下。   粘土化している。		25. 34 26. 15	6 31	1	2	3				+						- 26	i
27 -				A A A A A A A A A A A A A A A A A A A			(含水多い。   末月挟む。   相粒火山灰ごま状に含有ま   たは互層状に挟む。		26. 46 27. 15 27. 45	18	5	5	8										- 27	,
28 -	i			Y-Y- Y-Y- Y-Y-			たは立層状に挟む。 含水中くらい。		28 15	19 30	6	4	9										- 28	
29 -	-29.05	28. 70	2. 30	Y-Y-Y- Y-Y-	黒褐	有機質粘性土	含水中くらい。 29m、30m、青灰色。 細粒の細砂〜細粒の粗砂。		28. <b>45</b> 29. 15	50 24	15	21	14						-				- 29	
30 -	-						粒度良い。  細砂主体。  31m、細粒~中粒の細砂		29. 39 30. 15	50 28	14	15	21 8										- 30	ı
31 -					育灰(		・中粒〜相粒の相砂。 階段粒度。 實得少し含有。		30. 43 31. 15	50 21	16	31	3										- 31	
32 -	-32.65	32.30	3. 60		暗黄緑	<b>6</b> 9			31. 36 32. 15	50 24	50	21	9 4		-								- 32	
33 -							編粒~中村。 均等粒度。 含水中くらい。 均質。		32, 39 33, 15	50 9	50 9		4}		4	A. man special and special spe							- 33	
34 -	-34, 71	34, 36	2. 06		暗黄鞣	細砂	//2PPLo		33, 24 34, 15	50 21	15	31	4						٠				34	
35 -	1	1			35441	- Tanana			3 <b>4</b> , 36	. 41			1										35	

ボーリング柱状図 語 査 名 千葉市立轟町中学校改築地質調査他業務委託 ボーリングNo. 事業·工事名 ボーリング名 N o . 1 調査位置 千葉市稲毛区轟町3丁目5番14号 北 緯 調査期間 発注機関 千葉市都市局建築部営繕課 平成12年12月25日~12年12月27日 経 ボーリン 調査業者名 主任技師 代理 鑑定者 グ責任者 KBM 角 北,0° 使用 180 方 ハンマー コーンフ゜ーリー 孔口標高 試 錐 機 Y B M - 1 W A 盤勾配 上 水平0° -0.23m 落下用具 機種 総掘進長 エンジン N F D 1 0 ポンプ O D - 6 0 S 度 间 標 層 深 柱 土 色相相 記 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 内 水 試験 |深 | 10cm ごとの 試 験 名 深試採 位 質 対対 値 N 打擊回数 および結果 (m) 尺 高 厚 度 状 料取 /測 度 0 10 20 度 度 区 密稠 月 番方 定月日 } 量 l<sub>(m)</sub>|10|20|30 調度度 図 分 (m) 号 法 日 (m) (m) (m) (m) 良く転圧された山砂 -0.73 0.5~0.8m貝殻多量混入する有機質シルト ∄盛土・□ 1.15 1 30 以深黒ボク主体で下部は不規則にローム 褐 1.45 1 2 12 14 2.15 2.15 1-1 P 2.46 2.46 軟 細粒分主体のローム 3.00 3 1-2 0 スコリア等粗粒土の混入少ない 褐 か 3.85 Д 下部はやや粘土化している 4.15 1-3 P 4.47 5.15 -5.43 5.15 1-4 P 5.2~5.3m凝灰質粘土挟む 5.45 褐 緩 シルト質 6.10~6.30m砂混じり凝灰質粘土 5 32 1-5 P 細砂 ζş 灰 6.47 6.47 緩 黄 7.15 10 30 10 3 7.15 1-6 P 灰 4.5 全体にシルト少量含む 7.45 砂粒子ほぼ均一 { 8.15 5 13 30 13 4 8.15 8.0m付近水平方向にラミナ認める 黄 ф 1-7 P 褐 8,45 位 8.45 2.00 -9.03 細 黄 16 30 ф 砂粒子やや粗く、中砂も混じる 9.15 5 6 9.15 P 1-8 若干量の細粒土含む含水多位 位 砂 灰 9.45 9.45 シルト混じり微細砂 10 10.15 5 6 15 30 15 10.15 1-9 P 10.66 全体に少量のシルト含む 10.45 黄 中 砂粒子微細で均一 1 1 15 30 15 褐 位 11.15 11.15 下位層へ漸移している 1-10 P 11.45 11.45 13 30 12.15 3 6 12.15 ]1-11| (P) 12.45 12.45 13 13.15 4 6 14 30 13.15 1-12 P 13.45 13.45 上層部少量のシルト分含む 14.15 3 4 13 30 6 14.15 雲母片混入 1-13 P \_\_ 13 14.45 14.45 15 15.15 7 9 15.15 6 1-14 (P)

進 (m) - 14 16.15 1-15 P 16 16.15 6 11 21 30 21 16.0m~17.0m付近細礫混入 17 11 | 13 32 30 32 17.0m付近やや粗くなる 暗 1-16 P 中 17.45 黄 18 位 27 30 27 褐 18.15 9 12 18.15 18.0m付近より砂粒子細かくなり少量の細粒土含む 1-17 P { 18.45 砂 暗 密 19 8 10 24 30 24 19.15 19.15 1-18 P な 黄 19.45 19.45 灰 20 29 30 10 | 11 20.15 20.0m付近細粒分少ない 1-19 P 20.45 28 30 28 21 21.15 8 13 21.15 21.0m付近少量の細粒土含む 1-20 P 21.45 22 15 15 41 30 41 22.0m以深細粒土の混入少ない ] 1-21 P 22.45 23.15 1-22 P 36 30 23 9 12 15 含水分中~多位 23.45 23.45 24 33 3D 33 24.15 10 11 12 24.45 1-23 P 24.45 50 24 -25.23 13.00 <u>25.15</u> 17 | 22 | 11 4 25.0~25.15m間貝殻極めて多量 混入 一人体に自動性に自1 25.15 1-24 P

26 27 28	-26.83	0.40	20.0	有機質シル	更 灰		中位~	全体に貝殻片混入 所々ブロック状に浮石混入 含水分中位 27.1~27.4m間灰色凝灰質シルト へ漸移している 部分的に腐植土状に移化	26.45 27.15 27.45 28.15	3	2 3 4 3 4 4	1	10_	7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				26.45 27.15 27.45 1-26 28.15	) (P) (P) (P)	the character of the ch
29 30 31 32 33 34 34 34 34 34	-34.13			細砂	緑灰~暗黄灰 暗黄~暗	密な~非常に密な 非常に密		粒子均一 31.0m付近浮石の薄層所々挟む 雲母片微量混入 33.10~33.30m黄灰色シルト挟 む 砂粒子均一 全体に粒子微細で均一 非常に密な砂層	32.34 33.15 33.43 34.15 2 34.34	15 2 10 1 5 3 9 1 10 3	6 24 9 5 9 7 22 8	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	35 30 31 30 31 30 31 30 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31					28.45 29.15 1-28 29.45	<ul><li>P</li><li>P</li><li>P</li><li>P</li><li>P</li></ul>	न् <u>र</u> ्वेश्व
35	-35.55	1.42	35,32	 砂	褐	な			35.15 <sup>2</sup> 35.32	3 2	7	5	17 17				**** (1.16.10.10.20.10.10.10.10.10.10.16.16.10.10.10.10.10.10.10.10.10.10.10.10.10.	35.15 35.32 1-34	P	12 1

千葉市立轟町中学校改築地質調査他業務委託

ボーリングNo.

訵

査

名

事業·工事名 調査位置 ボーリング名 No.2 千葉市稲毛区轟町3丁目5番14号 北 緯 発注機関 千葉市都市局建築部営繕課 調査期間 平成12年12月27日~13年 1月 6日 東 経 調査業者名 主任技師 代理人 グ責任者 地盤勾配 KBM 角 方 ハンマー 孔口標高 試 錐 機 Y B M - 1 W Aコーンフ・ーリー 上 水平O° 用 -0.23m落下用具 <u> 79</u>0' 270 4 機種 西 総掘進長 下 36.33m ポンプ エンジン N F D 1 0 0 D - 6 0 S 向 南 標 色相相 標 層 深 柱 土 記 標準貫 入試験 原位置試験 試料採取 内 深 10cm ごとの 試 験 名 深 試 採 位 質 |対|対 験 進 N 値 打擊回数 回数/貫入量 および結果 (m) 厚 尺 高 度 状 料取 - o -度 0 1020 度 度 密稠 区 月 定月日 番 方 (m) 10 20 30 図 分 調 度度 (m) (m) (m) (m) 号法 日 (m) 埋土・組 良く転圧された山砂主体 埋 0.50~1.80m黒ボク主体でローム 1.15 褐 1.80m以深ローム主体で黒ボク混じ 1.54 黄 2 2.00 褐 2-1 D 3 2 <u>1</u> 14 6 3.15 1 4 30 4 3.15 2-2 P 目殻分主体のローム 3,45 見かけ含水中位 4.00 か 下部やや粘土化している L 2-3 D 4.80 5.15 黄褐 13 凝灰質粘 2-4 P 含水中位、下位層へ漸移 5.47 0.60 5.47 不均質、粘性中位 6.15 3 5 6.15 -6.532-5 P 6.45 中 全体にシルト少量含む 14 30 7.15 6 7.15 じり細砂 砂粒子均一 2-6 P 7.45 7.45 -8.03 1.50 15 30 15 8.15 5 5 8.15 2-7 P 8.45 8.45 9.15 19 30 19 5 6 8 全体に極少量の細粒土含む 2-8 P 砂粒子均一 9.45 9.45 含水は砂が湿っている程度 中 細 10 10.15 16 30 16 10.15 雲母片微量混入 位 2-9 P 砂 褐 10.45 10.45 11.20 11.15 6 25 30 25 8 11 11.15 2-10 P 11.45 11.45 12.0m付近砂粒子微細となる 13 30 12 12.15 5 12.15 2-11 P 4.65 12.45 12.45 12.45 7 7 20 30 20 13.15 6 2-12 P 13.45 13.45 13.65~13.80m細礫散在 14.15 14.15 2-13 P 14.45 14.45 少量のシルト含む 23 30 15.15 7 10 6 15.15 2-14 (P) 15.45 15.45 38 30 38 16 16.15 9 | 12 | 17 16.15 16.0m~18.0m間細粒分少ない 2-15 P 中 16.45 16.45 位 **42** 30 42 17 17.15 12 14 16 17.15 17.0m下部粗砂へ移化している 2-16 P 暗 { 17.45 17.45 銮 黄 19 30 19 18 5 5 9 18.15 18.15 18.0m付近より砂粒子微細 褐 な 2-17 P 細 18.45 18.45 { 砂 29 30 29 19 19.15 10 10 9 19.15 非 暗 2-18 P 常 19.45 黄 19.45 20 灰 1.7 20 30 20 20.15 5 6 9 20.15 19.0~21.0m間 粒子均一 2-19 P 密 20.45 20.45 な 21 9 10 21.15 7 26 雲母片混入 2-20 P <u>30</u> 26 21.45 21.45 42 30 42 22 22.15 9 | 14 | 19 22.15 22.0m付近より細粒分少なくなる 2-21 P 22.45 22.45 36 30 23 23.15 7 | 11 | 18 23.15 2-22 P \_\_36 23.45 23.45 94 50 24 24 19 22 24.15 24.15 24.0m付近より暗黄灰となる 2-23 P 24.39 24.39 -25.08 12.40 24.85 5<u>0</u> 23 16 | 26 8/3 25 暗 非常 上部25.1 m付近まで貝殻極めて多量 25.15 25,15 .....g 貝殻混じ り細砂 2-24 P に密 25.38 砂粒子均一

Ē 00	-26.13	1.05	25.	90 <b>. e.</b>		灰	73	İ	砂粒子均一	[20.00]	[25.38]	=
F 26	-26.53	0.40	26.	30 <u>22 / :</u>	7 シルト質 細砂	黄花	中位		浮石多量混入	26.15 5 5 6 16 16 20 16	26.15	4
Ē	-26.93	0.40	26.		ミシルト		-		斑状に浮石混入、下位層へ漸移	26.45   30   16   26   16   26   26   26   26   26	26.45 2-25 P	4
27	00.00	1.30	28.		千 有機質3 - ルト	· 暗 · 褐			腐植物混入 部分的に腐植土状に移化	27.15 3 3 3 9 9 27.45 9 27.45 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	27.15 27.45 2-26	- Thursday
29									粒子均一	28.15 9 13 21 43 28.45 43 43	28.18 28.45 2-27	فأستنانا
						青灰		i	29.0m付近より色調漸移	29.15   12   10   10   32   32   32   32   32   32   32   3	29.15 29.45 29.45	ulmut
# 30						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	密		30.0m付近細粒分少量含む	30.15 6 6 6 18 30.45 18	30.15 30.45 2-29	mulmi
31						黄灰	な ~		31.0m付近より非常に密	31.15 28 22 50 15 31.30 S 15 S	31.15 31.30 2-30	unlun
32					<b>細</b> 砂	1 暗	非常		雲母片混入	32.15 24 26 50 19 32.34 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	22.15	1 1 1 1 1 1 1 1
33					::	黄褐	に密		33.□m付近浮石の薄層互層状に挟む	33.15 24 15 11 50	33.15	hunhun
34						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	な		粒子均一で非常に密	33.45 34.15 15 21 14 50 34.39	33.45 34.15 2-33	Junifun
35						黄灰			35.0m付近より砂粒子微細となる	35.15 23 27 50 19 35.34	34.39 35.15 2-34	dunlin
36	-36,56	8.33	36.3	3	::					36.15 20 3 <u>0</u> 5 <u>0</u> 18 36.33	36 15	1)6 Tunhuntu

調 査 名 千葉市立轟町中学校改築地質調査他業務委託 ボーリングNo. 事業·工事名 調査位置 ボーリング名 千葉市稲毛区轟町3丁目5番14号 N o . 3 緯 発注機関 調査期間 平成12年12月22日~12年12月27日 東 千葉市都市局建築部営繕課 経 ーリン 調査業者名 主任技師 代理 グ責任者 北口。 地盤勾配 KBM 角 使用機種 180 方 ハンマー トンヒ゛ 孔口標高 試 錐 機 0 R V - 1 0 0 上 -0.17m 水平O° 落下用具 総掘進長 エンジン ポンプ 34.31m N F A D 8 - K 0 D - 6 0 S 度 孔内 標 色相相 記 層 深 柱 土 標準貫入 原位置試験 試料採取 水位 深 10cm ごとの <mark>打</mark> 試 験 名 深試採 対対 進 質 値 N 打擊回数 および結果 (m) 高 厚 尺 度 状 料取 /測定月日 度 0 10 20 度 一貫人量 度 密稠 月 番方 |<sub>(m)</sub>|10|20|30| 図 調度度 分 (m) 号 法 日 (m) (m) (m) (m) 細砂主体 ローム、小礫混入 : 埋土・細 暗茶  $\begin{array}{c|cccc}
1 & 3 \\
\hline
8 & 35 & 2.6
\end{array}$ 1 ローム主体の盛り土 土 1 2 4 9 13 33 3.6 茶 か 全体に均質、粘性弱い 43 孔内水平載荷試験 3.00 浮石片点在 茶 色調に若干の変化あり 中 位 <u>5</u> 30 孔内水平載荷試験 埋土・ロ 5.00 ローム・粘土の混合土、黒ボク少量混入 黄 上部不均一 6 30 6 位 6.0 m付近全体に砂分混入 褐 0.95 -6.62 孔内水平載荷試験 7.00 混 上部粘土分多い 中 茶 砂粒子均一、含水小位 位 色調に若干の変化あり 16 30 16 8.15 5 5 6 8.45 23 30 9 9.45 砂粒子均一、含水小位 全体に若干の粘土分含む 10.15 6 12/27 10.95 11 15 6 18 30 11.15 11.0m付近極少量の中砂混入 118 11.45 12.○m付近より含水中位(湿っている程度) 13 30 12.15 5 5 12.45 25 30 25 - 13 13.15 8 | 12 13.45 25 30 25 14 14.15 8 10 7 14.45 中 15 28 30 15.15 10 10 8 位 15.0m付近より部分的に数mm程度 の円礫点在、また中租砂少量挟む 16 <u>16.15</u> 10 | 13 | 16 39 30 39 æ 細 黄 な 非 砂 褐 <u>17.15</u> 10 | 12 | 16 38 30 38 16.7m付近φ30mm程の円礫点在 常 17.45 įζ 18 18.15 11 14 17 42 30 42 密 18.45 な 19.15 10 14 17 41 30 41 部分的に粒径細かく微細砂に近い 19.45 20 30 30 30 20.15 11 11 8 20.45 21 21.15 12 12 | 13 21.0m付近全体に粗砂混入 9 12 27 30 27 22 22.15 6 22.45 37 30 23 9 13 15 18 | 29 24 24.15 24.36

38 12

16.10 24.80

非常

部分的に貝殻層を呈す 下部シルト含む

.....g 貝殻混じ の単.... り中細砂

F	-26.07	1.1	25	.9N:	à		何	/ <b>&amp;</b>				Т				1									
26	-26.72					浮 石	乳黄 白	緩		風化され粘土化している 細砂挟む	26.15 1		2 12	3 12	6 34 5.3	3 6	-	 							
27	-27,47			- - 30.		シルト	乳灰		硬い	上部浮石片散在、下部有機物片散在	26.49 27.15 3		3		10_	-	$\bigvee$								
28	-28.67	1.2		-  	15.E	<b>有機質</b> シ ルト	暗褐		硬い	部分的に硬質である、有機物片散在部分的に黒色を帯びる 下部浮石混入	27.45 28.15 3	1	4		30 10 11 30 11										uthuthur
29										上部シルト分含む 粒径均一、含水量中位(湿っている程度 )	28.45 29.15 24 29.34		2 <u>6</u>		50 19				-					1	2 1
30	ALC: THE STATE OF						暗青	非		30.0m付近より暗黄褐色を帯びる	30.15 <sup>36</sup>	Ť	16 4		52 14						:				untunutu
31						細 砂	灰 ~	常に		部分的に極少量の中砂混入	31.15 <sup>32</sup> 31.29	1	18 4		50 14										urlumtu
32							暗黄褐	密な			32.15 <sup>36</sup> 32.30		16 5		52 15				-						րիումո
33										33.0m付近多量の浮石砂混入	33.15 8 33.44	+			5 <u>0</u> 29					_					uhuutu
34	-34,48	5.8	34								34.15 <sup>19</sup> 34.31		31 6		50 16				_	-				1	12 = 27 = 3
35								•														Marity (Property production - 181) about 1833 dates responses and to recommend			arfanta

調 査 名 千葉市立轟町中学校改築地質調査他業務委託 ボーリングNo. 事業·工事名 ボーリング名 調査位置 千葉市稲毛区轟町3丁目5番14号 N o . 4 緯 発注機関 千葉市都市局建築部営繕課 調査期間 平成12年12月27日~13年 1月 6日 東 経 ボーリン 調査業者名 主任技師 代理 グ責任者 使用機種 KBM 角 180 方 北上0~ ハンマー 孔口標高 試錐機 O R V - 1 0 0 トンヒ゛ 盤勾配 90° 上 水平0° -0.26m 落下用具 総掘進長 N F A D 8 - K ポンプ 0 D - 6 0 S 標 層 深 柱 土 色相相 記 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 内 深 10cm ごとの <mark>打</mark> 試 験 名 深|試|採 対対 進 値 N 打擊回数 回 および結果 (m) 厚 尺 高 度 状 料取 /測定月日 度 0 1020 度 度 密稠 月 番方 (m) 10 20 30 図 分 調度度 (m) 号法 日 (m) (m) (m) (m) (m) 砂質土主体 1.15 ÷ 2 36 1.7 ら ローム主体、少量の小礫混入 部分的に均質な黒ボク混入 2,49 孔内水平載荷試験 3,00 上部攪乱され不均質 5 粘性中位 4.15 1 1 1 褐 含水中位 か 浮石粒散在 5.00 中 下部砂分多い 2 3 7 9 30 7 6.45 孔内水平載荷試験 部分的に粘土分多い り細砂 砂粒子均一、含水小位 6 16 30 16 8 8.15 4 6 |砂粒子均一、含水量少ない 9 全体に若干の粘土分含む 9.15 6 9.45 10 17 30 17 10.15 6 6 10.0m付近全体に中砂混入 中 1/6 10.45 11.12 11.15 10.45 位 砂 裼 19 30 19 11。○m付近から間粒径細かく均一、 微細砂に近い 12 5 13 30 12.15 5 12.0m付近より含水量中位(湿って 12.45 いる程度) 19 30 19 13 13.15 8 5.75 13.45 14 14.15 10 11 12 33 30 33 14.45 16.0m付近まで砂粒子細粒、微細砂 15 15.15 11 38 30 12 | 15 に近い 色調に若干の変化あり 9 12 28 30 28 16.15 7 16.45 31 30 31 17 17.15 8 10 | 13 1.7.0m付近全体に中砂混入、粗砂及び細葉点在 密 な 18.15 11 12 13 36 30 36 18 非 19.15 13 15 19 47 30 47 19 19.0m付近より粒径細かく均一であ 砂 褐 常 19.45 に 20.15 12 13 17 42 30 20 密 42 20.45 な 21.15 16 22 12 50 27 21 21.0m付近より非常に密な砂である 21.42 1<u>9</u> 50 29 22 22.15 12 19 22.44 23.15 16 27 5<u>0</u> 23 2 23 23.38 50 20 24 | 26 24 24.35

50 16

2<u>3</u> 27

25.15

上部貝殻片多い

下部細砂層状を呈す

-24.96 11.25 24.70

9 貝殻混じ

黄

26 -26.26 1.30 26.00 <b>6</b>		褐	な			=
27 H-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	7機質シル	乳黄白~暗褐	硬	上部20cm程浮石層(乳黄白色) 薄層状に細砂挟む	26.15     3     4     5     12       26.45     30     12       27.15     5     5     5     15       27.45     30     15	duntunlurili
28 - 29 - 29		暗		上部シルト分含む 粒径均一、含水量中位(湿っている程度 )	28.15     7     9     29     45       28.45     29.15     22     25     3     50       29.36     1     21	minimi
30		青	非	30.0m付近より暗黄褐色に変わる	30.15 18 21 11 50 30.39	minin
31	··· ₩	₹	に 密 な	31。0m付近帯状に浮石粒混入	31.15 19 21 10 50 31.38 32.15 22 28 50 32.33 8 18	ովորդուհու
33				色調に若干の変化有り	32.53   50   50   9   9   9   9   9   9   9   9   9	dundan
34 -34.53 6.47 34.27					34.15 42 8 50 12 12 12 1E	Trucking to
35						udundun

調 査 名 千葉市立轟町中学校改築地質調査他業務委託 ボーリングNo. 事業·工事名 ボーリング名 調査位置 N o . 5 千葉市稲毛区轟町3丁目5番14号 緯 発注機関 千葉市都市局建築部営繕課 調査期間 平成12年12月22日~12年12月26日 経 ボーリン 調査業者名 主任技師 代理人 鑑定者 グ責任者 KBM 角 180° 方 使用 北,0 ハンマー 孔口標高 試 錐 機 盤勾配 D - 1 C トンヒ゛ 上 水平0° -0.14m 落下用具 機種 総掘進長 エンジン N F D - 1 0 ポンプ V 6 - A 度 向 孔内 深 標 層 柱 土 色相相 記 標準貫入試験 原位置試験 |試料採取| 水 深 10cm ごとの 試 験 名 深 深試採 位 質 対対 進 値 N 打擊回数 回 および結果 (m) 高 尺 厚 度 状 料取 \_ o \_ 度 0 1020 度 度 測 密欄 月 定月日 番方 ₹ 全量 調度度 (m) 10 20 30  $(m) \mid (m) \mid (m)$ 図 分 事 (m)|号|法 (m) 日 (m) 課土・細 茶 褐 -0.44 1.15  $\frac{3}{32}$ 2.8 1.47 5 ローム主体の盛り土 2 木根点在 2.15 か  $\frac{2}{31}$  1.9 不規則に有機質ローム(黒ボク)混じる 14 2.46 ブロック状に点在する 褐 3 3.15 6 30 6 2 中 3.45 Δ 位 4.15 4.5m付近逸水が著しい 31 3.9 4.46 非常 に軟 含水多位、粘着力大位 らか 酸化物混入、細砂浮石。 暗 凝灰質粘 5.15 1 30 酸化物混入、細砂浮石点在 褐 0.90 5.45 全体に砂粒子不均一 褐 粘土混じ 6.15 4 12 30 12 4 4 中砂混入、浮石、雲母片点在 り細砂 灰 粘土分不規則に混入 6.45 -6.<u>94</u> 1.20 7.15 2 3 7 30 7.45 8 砂粒子不均一 5 5 8.15 4 14 30 14 雲母片、浮石点在 8.45 若干粘土分レンズ状に挟む 1<u>5</u> 30 9.15 5 6 9.45 10 10.15 5 5 6 10.0m付近より砂粒子均一、色調暗 褐色になる 16 30 16 暗 10.45 緩 黄 1 1 12/27 11.15 3 11.50 11.45 15 30 15 細 褐 11.45 12 30 - 12 ф 12.15 3 4 5 暗 位 12.45 褐 - 13 13.15 砂粒子均一、含水中位 4 6 浮石、雲母片混入 30 13.45 21 30 21 14 14.15 5 9 2<u>0</u> 30 15.15 7 8 5 20 16 23 30 23 16.○m付近より不規則に中砂混入、 角礫φ2~5mm点在 8 8 -16.64 9.70 16.50 16.45 17.15 10 15 16 41 30 41 17.45 18.15 14 18 1<u>8</u> 6 50 26 - 18 18.41 40 30 40 19 19.15 12 13 15 密 な 19.45 20.15 8 13 17 - 20 38 30 38 砂粒子不均一 細 暗 非 20.45 中砂混入 褐 砂 常 含水多位 21 21.15 14 16 20 17 密 22.15 15 17 18 8 5<u>0</u> 28 22 な 50 30 23 23.15 13 17 20 23.45 24 18 22 10 24.38

25.15 24

砂粒子不均一、含水多位

中砂混入、浮石点在

2<u>6</u> 7

8.30

25

24.80

暗中

				S WILLIS	恂	11/1		貝殻片全体に不規則に混じる	06.15		2 6	10								
	1.50	26.30		シルト混	应担			<b>砂粒子不均一、中砂混</b> 人		, ,	, ,	30	18	9						
-26.84	U.4U	26.70		しり細砂	UB 1740	1 1		黄褐色のジルトブロック状に混入 自殺片混じる				1 . 1	-							
-27.44	0,60	27.30		シルト	暗灰	3	非常に硬	含水中位、粘性中位 細砂少量混入、腐植物点在		4 6	6	16 30	16	1						
-28.49	1.05	28,35		- 有機質シ ルト	黒褐	ָ [i	V 1	O	28.15	8 10	12	3D 3D	30							nuluu
			:::::::::						i i	. 1	10									
	ſ								1 1	.0 13	3 19	30	42			8		THE STATE OF THE S		( ]
								26.5m~暗灰色		20 22	2 8	50_	-					111200100000000000000000000000000000000		12 – 25
									30.37											25 =
									31.15	3 15	<u>7</u>	50 15	-							
					緑	密		32.0~33.5m付近黄褐色、浮石層 層状に挟む		9 21	1 20	50 27	ľ							
					灰	な				0 19	12	34								
ļ				<u>\$</u>	1	1 ` 1			1 1	.0 12	12	30	34		$<$					
				砂	灰	常		砂粒子均一	1 1	.4 20	16	50	-							<u> </u>
-					}	に			34.41		6	1								
					1	1 1		35.0m~褐色	35.15	ıu		10	ŀ				-	ATTENDOCTOR CONTROL CO		
					J.X	14				17 13	3	50								
							:		30.13	. 5	2	12								
-				1						7 23	3_	50_								
									37.31		6	16						Literature		
								38.0m付近より暗灰色、微細砂混入	38.13	9 2	1 4	50	-							
													-							
-39.43	10.94	39.29	::::::::						39.10	1 19	4	14	-					THE LIE BOULD COLUMN HOUSE HE STATE AND THE STATE AND THE LIE AND		12 <u>-</u> 26 =
	-28.49	-26.84 0.40 -27.44 0.60 -28.49 1.05	-26.84	-26.44	-26.44 1.50 26.30 シルト混 -26.84 0.40 26.70 シルト混 -27.44 0.60 27.30 ニニー シルト ニニュー オーニー カルト -28.49 1.05 28.35 エーニー ルト  細  砂	-26.44 1.50 26.30 26.70 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	-26.44 1.50 26.30 26.70 26.34 0.40 26.70 26.34 0.40 26.70 26.75 26.34 0.40 26.70 26.35 2	-26.44 1.50 26.30 26.70 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	26.44	26.84	26.84	- 26.84	- 26.44 1.50 28.30   1.50 28.30   27.30   20.10   20	26.44   1.51   26.30   27.30   26.43   27.45   27.44   27.45   27.44   27.45   27.44   27.45   27.44   27.45   27.44   27.45   27.44   27.45   27.44   27.45   27.	- 26.44 1.50 26.30   1.50 26.	- 28.4	- 26.48 1.15 2.5 2.3 2.3 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5	20.44	22.44 1.53 26.30 279歳(8 年 刊	2024

部 査 名 千葉市立轟町中学校改築地質調査他業務委託 ボーリングNo. 事業·工事名 ボーリング名 N o . 6 調査位置 千葉市稲毛区轟町3丁目5番14号 緯 発注機関 千葉市都市局建築部営繕課 調査期間 平成12年12月26日~13年 1月 4日 東 経 ボーリン 調査業者名 主任技師 代理人 鑑定者 グ責任者 KBM 180° 上 北<u>」0°</u> 使用機種 角 方 ハンマー 孔口標高 試 錐 機 トンヒ゛ D - 1 C 盤勾配 90° 水平0° -0.27m落下用具 <u>7</u>90° 総掘進長 36.35m エンジン N F D - 1 0 ポンプ V 6 - A 度 向 孔内 室内試験 深 色相相 標 層 柱 土 記 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 水 深 10cm ごとの <mark>打</mark> 試 験 名 深試採 位 進 対対 値 N 打擊回数 回 および結果 (m) 厚 尺 高 度 状 料取 — o — 度 0 1020 度 度 測 密稠 区 月 番 方 定月日 } 量 (m) 10 20 30 調度度 図 分 事 (m) 号法 (m) (m) (m) 日 (m) (m) 盛土・ ローム主体盛土 軟らかく、木根点在 コンクリート片、砕石点在 褐 1.15 1 黒ボク不規則に混じる -1.87 1.60 1.46  $\frac{1}{8}$   $\frac{2}{12}$ 2.15 4 30 1.60~1.80m黒ボク、旧表土 2.45 3.00 3 ら 全般に均質なローム (1) 6-1 か 含水中位 3.80 茶 粘性中位 4.15 4 31 スコリア若干混入 褐 4.46 5.15 2 30  $\begin{array}{c|c}
1 & 1 \\
\hline
18 & 12
\end{array}$ 2 5.45 粘着力中位、軟らかい 砂粒子不均一、中砂混人、浮石点在 粘于分全体に混入 細砂不規則に混入 粘性強く、浮石点在 6.15 2 3 新士混り 暗黄 緩い 細砂 褐 砂混じり 黄 褐 6 30 -6.676.45 -7.17 7.15 3 4 10 砂粒子不均一 7.45 8 8.15 4 5 5 14 30 14 8.0m付近迄粘土分混入 8.45 浮石、雲母片点在 9 9.15 17 30 5 6 6 9.45 10 15 30 15 10.15 4 5 6 褐 中 細 砂 位 ? 1 1 9.0m付近より細砂主体 16 30 16 11.15 5 6 1/4 11.70 11.45 暗 若干中砂混入 褐 雲母片、浮石点在 13 30 12 12.15 5 12.45 13 13.15 4 5 14 30 14 5 13.45 0.80 14.80 ☆ 中砂 26 30 26 14.15 6 10 10 砂粒子不均一 円礫φ2~5mm不規則に混入 雲母片、浮石点在 中 暗 14.45 褐 位 22 30 7 15.15 6 9 15.45 16 2<u>1</u> 30 21 16.15 7 7 砂粒子やや均一 16.45 浮石、雲母片点在 17.15 10 11 12 33 30 33 17 中 18 27 30 27 位 **18.15** 6 10 11 { 18.45 密 24 30 24 19 19,15 6 8 10 な 19.45 細 暗 20 20.15 10 12 12 34 30 34 砂 褐 非 18.0m付近より砂粒子不均一 20.45 常 中砂混入 31 30 31 21 21.15 10 10 11 φ2mm程度の円礫点在 ΙC 21.45 密 22.15 13 17 20 9 50 29 22 な 22.44 34 30 23 23.15 10 11 13 23.45 5<u>0</u> 21 24.15 20 26  $\frac{4}{1}$ 24 24.36 10.10 24.90

50 16

25 6 25 25.15

25.31

-25.17

中位

~非

€ 貝殻混じ

砂粒子不均一、含水多位

中砂湿入、浮石点在

E 26	-26.			26.35				常に密な		貝殻片全体に不規則に混じる	26.15	5	5	4	14 30	14 9
27	-26.	.97	0.35			右	<u>火</u>   暗	中位		浮石主体 27.20mまでシルト主体 含水中位、粘性中位	26.45 27.15	3	3		10 30	
28	-28.	.77	1.80		+,	シル	褐		į,	麻植物全体に混じる 細砂、浮石少量混入	27.45 28.15 28.45	4	4	4	12 30	
29										砂粒子不均一、中砂混入 浮石、雲母片点在	29.15 29.29	33	1 <u>7</u>		50 14	
30										30.0m付近より掲灰色 30.0~31.0m浮石層薄く互層状に 挟む	30.15 30.45	10	12 1	3	35 30	35
31							暗灰	密な、		31.0m~非常に密になる	31.15 31.40	15	17 1	8 5	50 25	
32	-					細砂	~ 褐	非常		砂粒子不均一	32.15 32.34	17	33/9		50 19	
33	3						灰 ~ 褐	に密		雲母片、浮石点在	33.15 33.36			1	50 21	
34							17/6	な		34.0m付近より砂粒子均一	34.13		23 6		50 16	
35	<u> </u>									雲母片点在 若干黄褐色の浮石層レンズ状に挟む 35.0m付近より付近より褐色になる	35.15		16 3		50 13	
36	-36.	5.62	7.85	36,35							36,15 36,35	19	31	-	50 20	

訵 査 名 千葉市立轟町中学校改築地質調査他業務委託 ボーリングNo. 事業·工事名 ボーリング名 N o . 7 調査位置 千葉市稲毛区轟町3丁目5番14号 北 緯 発注機関 千葉市都市局建築部営繕課 平成13年 1月 4日~13年 1月 6日 調査期間 東 経 ボーリン 調査業者名 主任技師 代 理 鑑定者 グ責任者 使用機種 KBM 北,0° 角 180 方 ハンマー 孔口標高 試錐機 トンヒ゛ D - 1 C 上 盤勾配 -0.20m 水平O° 落下用具 置 総掘進長 34.40m エンジン N F D - 1 0 ポンプ V 6 - A 度 间 標 層 深 色相相 室内試験 柱 土 記 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 内 水 深 10cm ごとの <mark>打</mark> 試 験 名 深|試|採 位 質 対対 進 打撃回数 直数 値 Ν および結果 (m) 厚 尺 高 度 状 料取 |度|o|10|20 度 度 測 密稠 区 月 定月日 番 方 } 量 <sub>|(m)</sub>|10|20|30| 図 分 調度度 事 (m) 号 法 (m) (m) (m) 日 (m) (m) 盤土 ローム主体、軟らかく、乱れている 黒ボク全体に混じる 褐 1.15 砕石、木根点在 2 15 4 35 -1.80 1.60 1.50 2.15 3<u>0</u> 全般に均質なローム 2.45 含水中位 3.15 4 32 3.7 1 2 14 か 粘性中位 スコリア等混入 3.47 褐 2 3 6 30 4.15 中 4.45 5.0m付近やや暗茶褐色 位 5.15 2 31 浮石等多量混入 5.46 6.15 5 30 酸化物、浮石混入 位細砂不規則に混入 6.45 -7.00 7.15 3 3 10 7.45 8 砂粒子不均一、不規則に中砂混入 8.15 3 4 4 11 30 11 上部粘土分少量混入 8.45 全体に浮石、雲母片点在 16 30 9.15 5 5 6 16 暗 9.45 緩 黄 10 1<u>4</u> 30 14 10.15 5 5 έj 9.0m付近より暗褐色、砂粒子均一となる 褐 細 11.40 11.15 4 中 1 1 15 30 15 暗 愆 11.45 褐 12 30 12 - 12 12.15 12.45 13 13.15 5 5 1<u>5</u> 30 15 5 13.45 22 30 22 14.15 5 7 | 10 -14.50 7.50 14.30 7.50 14.50 0.50 14.80 0.50 中砂 14.45 -15.00 21 30 7 15.15 6 8 16 2<u>0</u> 30 7 7 砂粒子やや均一 浮石、雲母片点在 16.45 28 30 28 17.15 7 10 11 17.0m付近より不均一、中砂不規則 に挟む ф 17.45 18.15 8 10 11 29 30 29 位 18 φ2~5mm程度の円礫点在 } 18.45 密 31 30 19 19.15 10 | 11 | 10 | な 細 19.45 { 20 砂 褐 35 30 35 <u>20.15</u> 10 | 11 | 14 20.0m付近より砂粒子やや均一 非 20.45 雲母片、浮石点在 常 25 30 21 21.15 8 10 ĸ 25 密 21.45 9 11 27 30 27 22 な 22.15 7 22.45 23.15 13 17 20 6 5<u>0</u> 23 23.0m~非常に密になる 23.41 24.15 15 18 17 9 24 10.00 24.80 -25.00

5<u>0</u> 22

25.15 18 22 10

25

中位

~非

暗

::::g 貝殻混じ の細砂 砂粒子不均一、含水多位

中砂混入、浮石点在

26	-26.45	1.45	26,25	 6	:: り細砂 :::		吊に 密な		貝殻片全体に不規則に混じる	26.15	5	5	5	15 30 15					OR LEADING THE LEE THE LEE THE PERSON OF THE OWN THE OWN LEADING THE THE THE THE	l mili
	-27.00				> 浮 石	灰	中位		浮石主体	26.45	1	$\dashv$		30 15	9					=
E 27	-27.50	0.50	27.30		_ I -₹ £ 1.1b K	吸			含水中位、粘性中位 細砂、微細砂少量混入、細砂、浮石点在	27.15	5	7	7	19 30 19	9	1				1
28	-28,55	1.05	28.35		- T	暗 褐		に硬	含水少位、粘性小位 全体に有機物混入 細砂、浮石点在	27.45 28.15	10	11	24	45 30 45			9			duntin
# 29									砂粒子均一 上部28.80m付近まで緑灰色	28.45 29.15	17	22		50 23						dudin
30						緑灰	密な		29.30~29.50mまで暗灰色	29.38 30.15 30.29	32	18 4		50 14				and the second		dundun
31					··· ··· 細	- 音	· 非		29.50m付近より暗褐色	31.15 31.34	19	31 9		50 19						hunlun
32					::  69 ::	厌	常に		<b>雲</b> 母片、浮石点在 	32.15	17	20	13 <u>4</u>	50 24						hunlun
33					::	褐褐	密な		32,0~33,0m付近黄褐色、浮石層 薄く挟む	32.39 33.15	25	25		50 19						Junifun
34	-34.60	6.05	34,40		::  ::					33.34 34.15	15	20	15	50 25						1 6
35										34.40								V		miliun
Ē																	, are many as			

調 査 名 千葉市立轟町中学校改築地質調査他業務委託 ボーリングNo. 事業·工事名 ボーリング名 N o . 8 調査位置 千葉市稲毛区轟町3丁目5番14号 緯 発注機関 千葉市都市局建築部営繕課 平成13年 1月 4日~13年 1月 6日 東 調査期間 経 ボーリン 調査業者名 主任技師 代理人 鑑定者 グ責任者 KBM 北」0° 角 方 ハンマー 孔口標高 試 錐 機 D - 1 C コーンフ゜ーリー 上 盤勾配 水平0° 用 ~0.28m 落下用具 機種 総掘進長 34.28m エンジン N F D 1 2 ポンプ B G - 3 C 孔内 試料採取 深 試 採 室内試験 標 深 柱 土 色相相 記 層 標準貫入試験 原位置試験 水位 |深||10㎝ごとの||扛 試 験 名 質 対対 値 N 打擊回数 および結果 厚 尺 高 度 状 料取 0 1020 度 度 ,測定月日 密稠 区 貫 番方 量 |(m)|10|20|30 図 分 調度度 (m) 号法 (m) (m) 日 (m) (m) (m) |盛埋土・ □□ム主体、礫・煉瓦混在 O.6m付近山砂主体 黒ボク、旧表土、耕作土 1.35 2 2.46 3.15 全体に均質なローム 混入物は見られず 3.47 褐 か 含水中位、粘性中位 4.15 全体にやや粘土化 //// //// //// //// //// 5,15 5.48 6.15 3 緩 上部粘土分多く、下位層に漸位 含水少位、砂粒子不均一 赤褐 中 酸化著しく、色調不均一 7.15 位 7.45 8.15 8.45 緩 9.15 19 30 19 6 7 含水少位(パサパサ程度)、上部やや酸 化褐色、シルト少量混入 細 黄 9.45 褐 砂 ф 20 30 20 10 8 10.15 砂粒子細粒、雲母片混入 位 11.15 6 3.90 11.45 9 | 11 | 11 - 12 12.15 31 30 12.0~13.0m付近砂粒子やや粗い 含水中位 12.45 13 <u>13.15</u> 11 | 12 | 12 35 30 35 13.0m付近より褐灰色基調(暗黄灰 )に漸移 13.45 14.15 10 14.45

掘 進 月 32 30 <u>15.15</u> 10 | 11 | 11 全般に砂粒子均一、含水分中位 15,45 中 16 31 30 31 16.15 12 9 10 位 16.45 35 30 35 17.15 10 13 12 17.0~18.0m付近より砂粒子細粒 . 均一 密 黄 17.45 褐 な 18 9 13 3<u>0</u> 30 18.15 8 含水分中~多位 ? 砂 雲母片混入 褐 非 18.45 灰 常 45 30 19.0m付近にてゆ2~5mm程度の 小礫を少量混入する <u>19.15</u> 13 | 20 | 12 に 19.45 銮 20 20.15 10 10 13 33 30 33 な 20.45 42 30 21 <u>21.15</u> 14 | 15 | 13 21.45 20.0m付近固結状を呈する部分有り 43 30 22.15 13 15 15 22 含水分多位 砂粒子均一 22.45 19 | 25 6/2 23 23.15 23.37 24 22 19 9 50 25 24.15 24.40 13.20 0.80 25.50 0 回殺混じ り細砂 非常 に密 な 暗 全体に貝殻片を多量混入 50 20 23 27 25 25.15 灰 |含水分中位、砂粒子均--

26 1 27	-27.78	2.00	27.50	シルト	異褐灰~暗茶灰		# 上部浮石層(乳黄白色、粘土化している 常 )	26.15     6     7     8     21       26.45     27.15     6     7     7     20       20     30     20	uduntunlun
28		0.85	28,35	<b>有機質</b> シルト	暗 褐		a結 腐植物混入、含水少位 部分的に腐植土状 はた 固結状、浮石点在	27.45 28.15 5 6 20 31 30 31	Innihmu
30 mm/mm/mm/mm/mm/mm/mm/mm/mm/mm/mm/mm/mm/			}		暗緑灰、	非	28.0 m下部暗線灰色 29.0 m付近暗青灰色 全体に砂粒子均一、含水中多位 30.0 m付近褐灰色、所々浮石を帯状 に薄く挟む	28.45       29.15     20     22     8     50       29.38       30.15     21     23     6     50       30.37	unduntunlunt
31					(暗青灰)	常に密な	全体に砂粒子均一 含水分中~多位	31.15     24     26     50     18       31.33     32.15     33     17     50     12       32.27     12     12     12	
33		5.93	34.28		灰		34。Om付近酸化により赤褐色混じる 、色調は不統一	33.15 32 18 50 18 33.33 34.15 39 11 3 50 34.28 3 13	-\@ \@
35									mhinitin